

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 31 日

仕 事 の 内 容	観光情報発信事業					
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係	課長名	小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	3 - 6	-
【施策名】 観光事業の推進		総合計画書 (ページ)	79	

予算名	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	事業	1 観光推進事業
-----	---	-------	---	-------	---	-------	----	----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市内外の人	→ 市民+α
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	自然豊かな東大和市の生活文化情報及びイベントや年中行事等の情報をいつでもどこでも利用できるアプリを平成28年3月に制作し、多くの人に活用してもらい、地域の魅力を再発見、生活や文化などの旬な情報を共有でき、東大和市の魅力を感ぜてもらおう。	→ 累計ダウンロード数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	観光アプリの存在を認知してもらうために、ポスター・チラシを配布した。また、観光アプリ内の情報を更新し、活用度の高いものとし、ダウンロードしてもらおう。	→ 観光アプリPR回数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	人	市民+α	市民+α	市民+α	/	
	成果指標	②の数値	人	1,273	804	525	/	
	目 標	②の目標値	人					/
		目標設定の考え方		平成28年度から成果指標を変更				
活動指標	③の数値	回	4	5	5	/		

3 経費	事業費(実績)		円	648,000	648,000	648,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	648,000	648,000	648,000	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	1,653,400	1,650,600	1,648,800	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	2,301,400	2,298,600	2,296,800		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	平成26年度の国補正予算「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)」を活用し、市内の魅力をリアルタイムに市内外に発信し、来訪するきっかけやリピーターの増加を図り、地域の活性化を目的としている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
平成27年度に制作をし、平成28年度以降については、利用者が活用度の高いアプリケーションとするため、情報の更新やシステムの更新等を行い、利用者の増加を図っている。		

仕 事 の 内 容	観光情報発信事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	産業振興課と健康課以外にも、観光・子育てに関連する所管課事業の情報を掲載し、更新頻度を上げることが求められている。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	⑥	
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
引続きワークショップ等を開催し、利用者の声を伺う中で、より活用度の高いアプリケーションにしていく。				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	情報更新回数をさらに伸ばすことと、アプリ機能（トーク機能）をフル活用するためのルール、また、他部署を含めた情報発信の充実を図る仕組みづくりが課題である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	情報更新回数を伸ばすため、「東大和スタイル運用要領」等の内規を制定し、全庁的に「東大和スタイル」で情報発信できる体制を構築した。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
アプリ機能（トーク機能）をフル活用するためのルールづくりが課題である。				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> 全庁的に情報を発信できる体制を構築したことについて、定期的に他部署等への共有を図り、情報更新回数の機会向上を図る。 ワークショップ等について、継続して実施することで、コンテンツの充実を図る。 			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	ダウンロード及びセッション数（閲覧数）を増やすため、コンテンツの充実を図るよう、毎月開催する保守点検業者との打合せで意見していく。			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。